

◆ 1. 取組主体・立地等

【1. 取組の実施主体】

- ・連名による応募の場合は、応募者を含め全てご記入ください。
- ・協議会や運営委員会等が主体の場合、構成員までご記入ください。

例：〇〇協議会

構成員 〇〇株式会社

NPO 法人△△

地権者■ ■

△△市

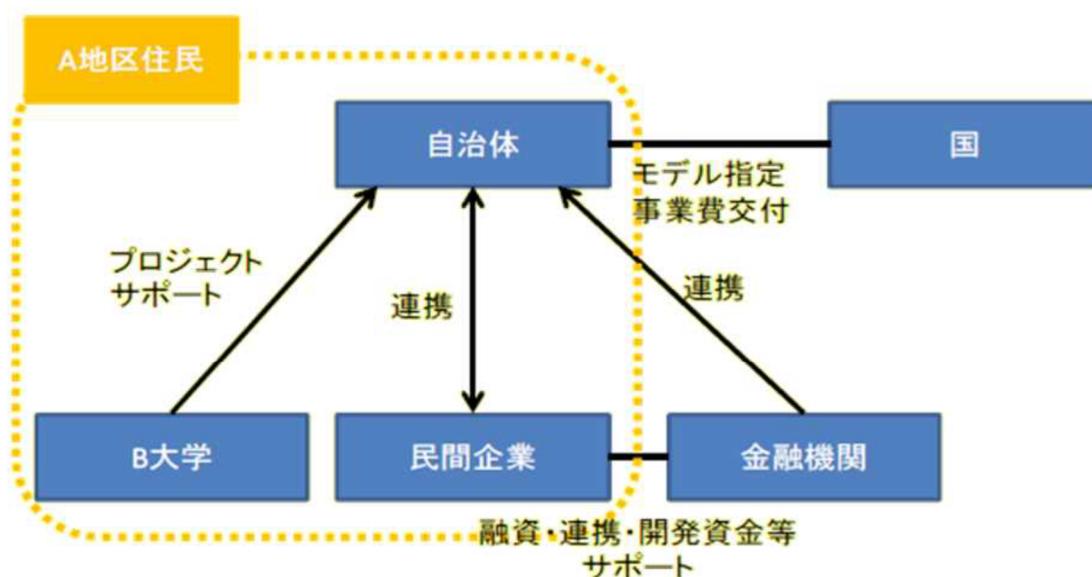
■ ■株式会社

【2. 関係者の相互関係】

- ・関係者（上記 1. に記載頂いた実施主体）の相互関係を簡潔に図示した上で、役割分担や資金の流れ等がわかるようにご記入ください。

例：

(図示イメージ例)



【3. 取組の対象となる地域・区域の概要】

- ・対象地域の概要について、位置関係・立地特性・市街地環境等を取組の内容等との関連がわかるようにご記入ください。
- ・距離や面積等の数値情報はなるべく具体的にご記入ください。
- ・概要版エントリーシート【場所】【立地説明】とリンクさせてください。

例：〇〇県△△市の主要駅■ ■の南西※※kmに位置した〇〇の跡地を中心とした約△△haの区域。〇〇は△△年から■ ■を行っていたが、※※のため〇〇年に閉鎖となっていた。この区域の周辺は〇〇年に開発が進められた新興住宅地が広がっているが、北側を流れる△△川以北には■ ■業を中心とした工場が建ち並ぶ工業地帯となっている。

【4. 取組の対象となる地域・区域の位置図等】

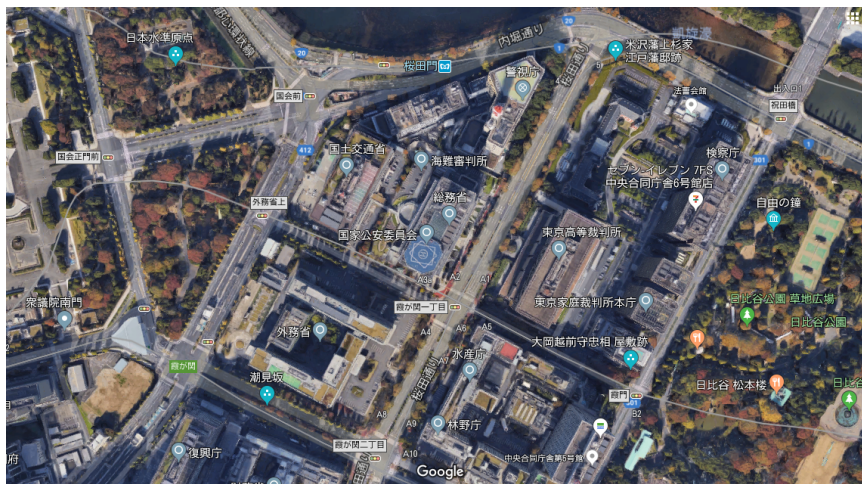
- ・位置図、案内図、航空写真等の画像を添付してください。
- ・画像ごとに（何の写真かわかるように）簡単な説明をご記入ください。
- ・画像は最終的に大臣賞に選出された際に、パンフレットの作成等に使用する可能性がありますので、1.5MB以上の画質のものを添付ください。

(HP掲載画像やパンフレット掲載画像等、参考画像は多めに添付いただくと幸いです。)

例：



補足説明例：国土交通省ホームページに掲載しているアクセスマップ



補足説明例：国土交通省周辺の航空写真

◆ 2. 取組の内容

【1. 背景・経緯・目的等】

- ・取組のきっかけや実施に至るまでの背景・経緯・目的等についてご記入ください。
- ・概要版エントリーシートの【背景・経過】で簡易的にまとめた内容について、詳細を記載してください。

例：背景・経緯

〇〇市においては△△の■ ■が※※であったため、〇〇の△△が課題となっていたが、この対策として、■ ■年の※※計画が策定され、〇〇事業を行うこととなった。これに対して、弊社の技術や開発ノウハウが活用可能と考えていたところ、自治体から提案公募があったため対応した。

なお、時系列は以下の通り

〇年〇月 〇〇を背景に△△が課題とされていた

△年△月 弊社から自治体へ提案

■年■月 協議会設立

※年※月 〇〇予定

〇年〇月 〇〇を視野に入れ、△△イベント等を実施予定

例：目的等

①〇〇市街地の継続的な賑わいの創出

②△△技術を応用し、〇〇に配慮したまちづくりを実現。予てから課題であった■ ■の解決に向け日々取り組んでいる。

③本件と取組の効果により、上記①や②の課題を解決したが、新たに※※や〇〇も改善できないかといった住民の声が上がってきている。持続的なまちづくりのため、住民参加と活動費の確保、△△等を現在の課題として認識している。

【2. 取組内容・実施状況】

・概要版エントリーシートの【取組内容】でまとめた内容について、審査のポイントとなる以下の①～④への該当がわかるよう、詳細を記載してください。

(誰が何をどのように行っているのか(5W1H)を明確に、数値情報は具体的に)

①先進性・独自性

(取組に用いられている先端技術や新しいまちづくり手法、独自の工夫等)

例：〇〇の技術により得られる△△を地域の■●に活用した。※※の技術は、近年は〇〇都市等でも既に導入されているが、本件取組では△△である点が初の試みであり先進性・独自性がある。当該工夫・応用により、従来の手法よりも■●の効果が一層期待できる。

②持続性・継続性

(一過性のものではなく、体制や事業採算面等で今後も持続性のある取組であること)

例：〇〇年に自治体と△△、■●、※※による協議会を設立して取組を開始し、現在〇〇年目となる。現在、△△地区の地権者の約■●%が協議会のメンバーとなっており、取組に対して理解を得られやすい体制が構築されている。協議会で※※、〇〇等を行っていることが取組を持続可能なものとしている。また、資金調達手法として〇〇を△△として取り入れたことにより、■●のための財源を確保することが可能となっている。

③都市課題の解決

(取組によってどのような都市問題を解決したのか、又は解決を目指しているのか)

例：〇〇地区は△△が■●であるため※※が重要な都市課題であった。〇〇を取り入れた△△は■●を可能にし、都市課題である※※の解決に大きく貢献した。取組開始前は〇〇であったが、取組開始後は△△となっており、住民意識や■●に明確な変化が現れている。

④普及可能性

(用いられる技術、手法やノウハウが国内外へ展開可能であること)

例：〇〇や△△といった都市課題はわが国の多くの都市が抱える社会問題であり、この都市課題を解決可能な■●の技術を応用した※※の取組は、非常にニーズの高いものである。また、本件取組は■●の技術を地域特性や住民ニーズ等に合わせて〇〇という形で応用しているが、例えば他都市でも△△等、容易に応用可能な技術である。

・その他、上記以外のアピールポイントがあれば記載。

【3. 参考画像・イメージ図】

- ・取組内容・活動内容や成果がイメージできる画像、写真、新聞記事、グラフ等を添付してください。
- ・画像ごとに（何の写真かわかるように）簡単な説明をご記入ください。
- ・概要版エントリーシートに使用した写真以外にも、取組状況やまちの雰囲気がわかる写真を多めに添付してください。
- ・なお、写真は、別途ワードファイルを作成してご提出頂いても構いません。また、JPEG等の画像データをそのままメールで提出頂いても構いません。その場合はファイルタイトルに簡単な説明をご記入ください。
- ・提供画像は、最終的に大臣賞に選出された際のパンフレットやイベント展示パネルに使用しますので、1.5MB以上の画質のものを添付ください。

◆ 3. 今後の展開等

【1. 今後の展開予定】

- ・ 今後の取組の展開について、具体的ビジョン・方向性についてご記入ください。
- ・ 具体的展開が決まっていない場合、取組の実施を通じて明らかになった課題や、その対応、対策を今後どのようにとっていくべきかといった、見込みやビジョン、今後の展開の余地についてご記入ください。

例：本件取組の中でも、〇〇や■ ■についてはまだ改善、拡充の余地があり、△年△には※※等の実施を予定している。また、住民より〇〇等の要望もあがっており、対応するため■ ■については早晩の着手が必要と考えている。これについてはまだ具体的な着手目処は立っていないが、取り急ぎ△△年中には協議会メンバーで方針等を策定し、※※年までには具体策を実行に移していきたいと思っている。さらに、本件取組の結果、〇〇等の民間の動きが散見されるようになった。本件取組とは直接的な関係はないものの、地域のまちづくり、賑わい創出に向けた担い手の育成の観点から■ ■等、まちづくりを担う一員として可能な限りのアドバイス、サポートをしていきたいと思っている。

【2. 受賞履歴】

- ・ 受賞履歴について、受賞時期、表彰名と表彰主催者をご記入ください。

例：〇〇年、△△大賞、■ ■省主催

【3. 同時期の他の表彰制度への応募（予定含む）状況】

- ・ 現在応募中（予定を含む）の他の表彰制度があればご記入ください。

例：〇〇年、△△大賞、■ ■省主催